

歳出

■庁舎移転補償金を「新しいまちづくり基金」に積立て
5億1547万円

■情報センター運営費として「過疎地域自立促進事業基金」に積立て
3千万円

■町の起債（借入金）を繰り上げ償還して、将来、負担となる元利金について年額約4835万円の軽減を図るもの
4億4833万円

■道路台帳等整備委託料
1079万円

■町内の小中学校10校のホームページのシステムを統一し、更新の簡易化を図るもの
364万円

■地域防災計画作成事業委託
500万円

■男女共同参画計画策定委託
344万円

■災害時業務継続計画作成業務委託
300万円

■災害対策情報インフラ構想作成業務委託
250万円

■伊田の看板（既存）の補修も兼ねて、道の駅のPRを行う観光看板の作成委託費
200万円

■大方あかつき館防水工事の工事管理委託費と工事費
5553万円

Q 坂本 あや議員

あかつき館については、今年抜本的に見直しをして、総合的な計画を入れるとのことだったが、どのように見直しをしようという工事を行うのか。

また、玄関から入ったホールに職員がいなくて、集まってくる子どもたちの安全性の担保、また、図書館もトイレも人がいるのかさえも分からない環境となっていることなど、前々からの問題についてはどうなっているか。

A 畦地 教育次長

改修工事の内容は、防水工事が主になる。その雨漏り等により汚れ等も発生しているので、内壁、外壁等の修繕。

また、一部使い勝手の悪い室等の改修。それから、使用実態のない調理室を改修して会議ができる室にする等々。

ホールについては、同館ができた当初、文学館の上りに受付があり職員を配置していたが、人的な問題もあり今は配置していない。

その問題については、詳細の設計等について、また建築士とも相談をしながら、解決策について協議をしていく。



畦地 教育次長

■都市再生整備計画として、城山の宅地造成の工事費
3341万円



入野小学校西側に位置する城山

■加工場改修工事費

特産品加工場の換気装置改修とテールブルワゴンなど備品

新設した缶詰ラボ施設の吸排気施設のフィルター整備、フェンスと舗装の整備。また、同施設の備品としてプレハブ冷凍庫、急速冷却機、電気式熱風消毒保管庫、容器洗浄機など
951万円

■津波避難標識・津波避難誘導灯各12カ所分
1200万円



雨漏り等により大規模な改修が行われる「大方あかつき館」。なお、左側の避難タワーは昨年度建設され、あかつき館屋上との行き来が可能となっている。